

ANAホールディングス株式会社 説明会

2018年3月期 決算

代表取締役社長

片野坂 真哉

2018年4月27日



目 次

1. 2017年度 決算・2018年度 業績予想

2017年度 決算	P. 4
2017年度の振り返り	P. 5
2018年度の経営戦略テーマ	P. 6
2018年度 業績予想	P. 7
航空事業	P. 8
2018年度の経営戦略（詳細）	P. 9
LCCの経営統合	P. 10
経営資源配分	P. 11
社会的価値創造に向けた取り組み	P. 12

2. 2017年度 決算（詳細）

業績ハイライト	P. 14
連結決算概要	
経営成績	P. 15
財政状態	P. 16
キャッシュフロー	P. 17
セグメント別実績	P. 18
航空事業	
収入・費用	P. 19
営業利益増減要因	P. 20
国内旅客事業	P. 21-22
国際旅客事業	P. 23-26
国内貨物事業	P. 27
国際貨物事業	P. 28-30
LCC事業	P. 31-32
燃油・為替ヘッジの進捗状況	P. 33
航空事業以外のセグメント	P. 34

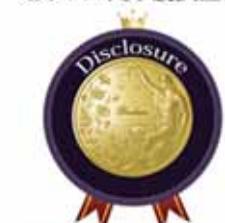
3. 2018年度 業績予想（詳細）

連結業績予想	P. 36
セグメント別 業績予想	P. 37
航空事業 売上高・営業費用 予想 計画前提	P. 38
ANA旅客事業	P. 39
ANA貨物事業	P. 40
LCC事業	P. 41
連結バランスシート（計画）	P. 43
連結キャッシュフロー（計画）	P. 44

4. 補足資料

運用航空機数	P. 48
国際旅客 方面別実績（構成比）	P. 49
国際貨物 方面別実績（構成比）	P. 50

ディスクロージャー[®]
2017年度 優良企業



SAAJ 日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

1. 2017年度 決算・2018年度 業績予想



2017年度 決算（概要）

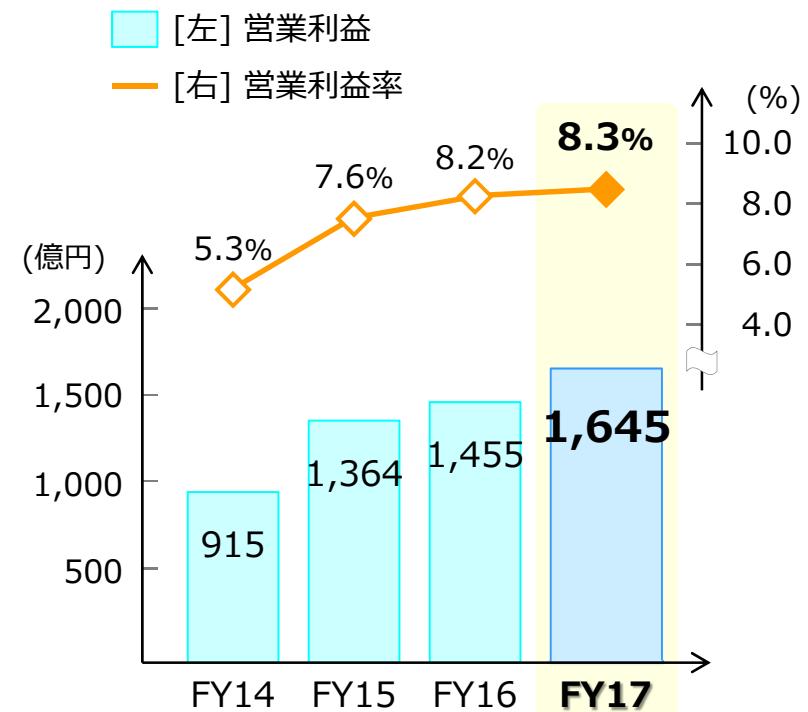
成長戦略を着実に推進、3期連続で最高益を更新

2017年度 決算（連結）

(億円)	通期	前年差	計画差*
売上高	19,717	+ 2,065	+ 467
航空事業	17,311	+ 1,948	+ 391
営業利益	1,645	+ 189	+ 45
航空事業	1,568	+ 173	+ 48
営業利益率	8.3%	+ 0.1pt	+ 0.0pt
経常利益	1,606	+ 202	+ 106
親会社株主に帰属する当期純利益	1,438	+ 450	+ 118
EBITDA	3,149	+ 290	+ 49
1株あたり当期純利益	417.8円	+135.4円	+ 40.4円
1株あたり配当金	60円	—	—

* 2017年11月1日開示値との比較

営業利益・営業利益率



▶ ポイント

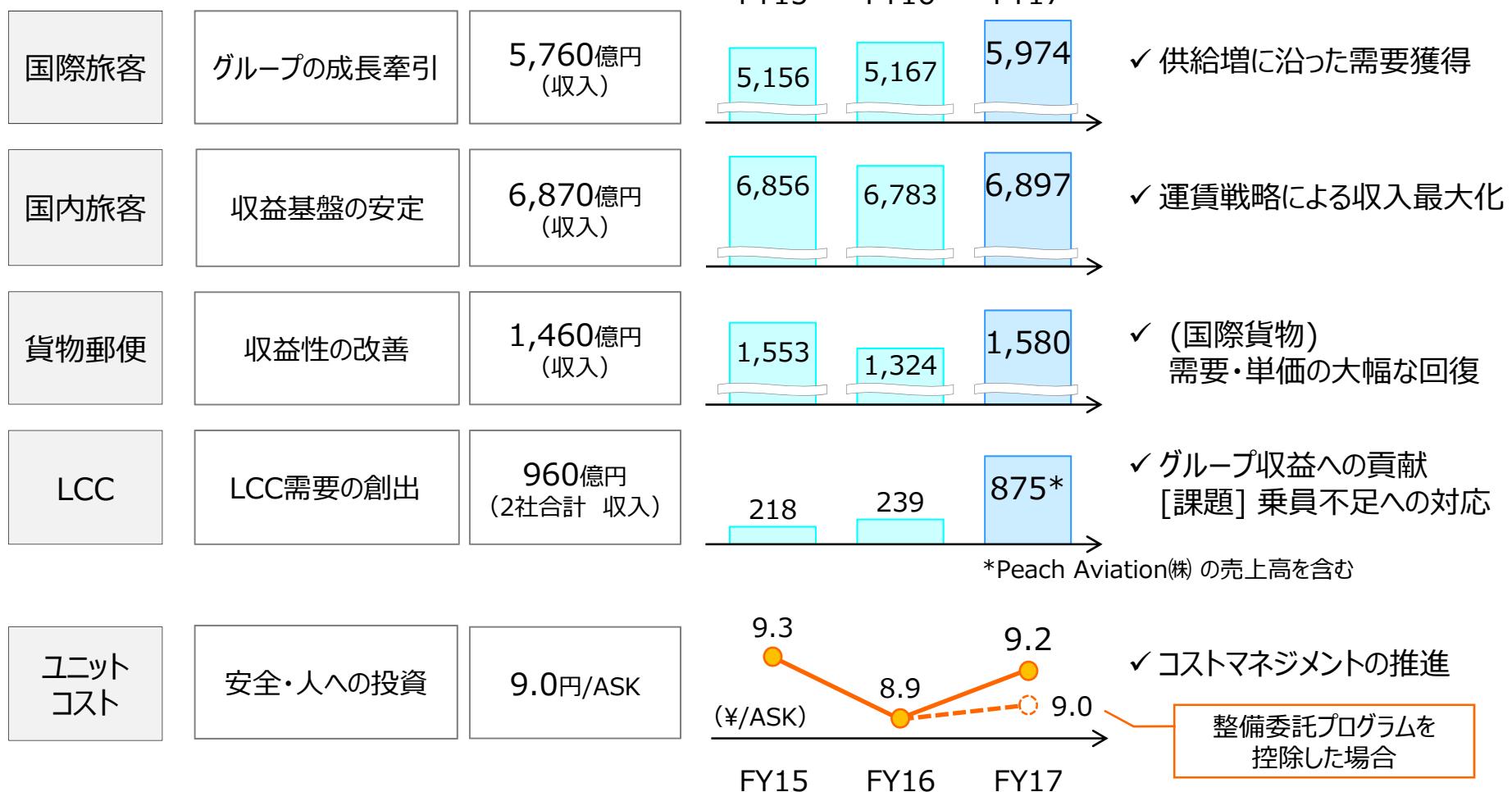
1. 航空需要は堅調に推移、トップライン拡大を牽引
2. 「整備委託プログラム」の加入で将来の費用平準化も同時に追求
3. 1株あたり配当金：60円

2017年度の振り返り

経営戦略に則って収益性を向上、価値創造目標の達成に寄与

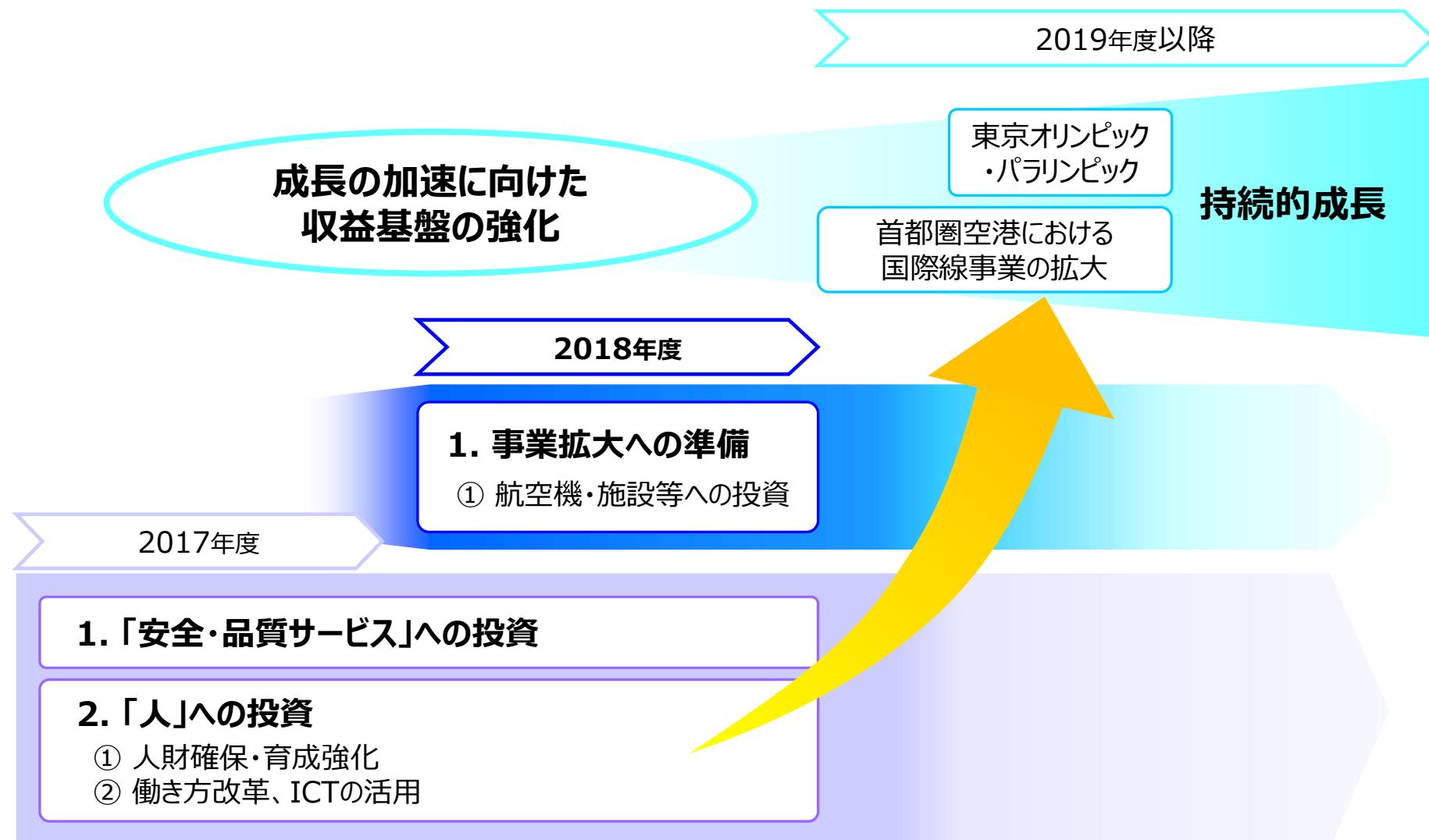
2017年度目標 (2017.11.1開示)

達成状況 (実績)



2018年度の経営戦略テーマ

経営の基盤固めを着実に推進



2018年度 業績予想

成長と先行投資を両立、2017年度並みの利益水準を確保

2018年度 業績予想（連結）

(億円)	通期	前年差
売上高	20,400	+ 682
航空事業	18,050	+ 738
営業利益	1,650	+ 4
航空事業	1,600	+ 31
営業利益率	8.1%	△ 0.3pt
経常利益	1,580	△ 26
親会社株主に帰属する当期純利益	1,020	△ 418
EBITDA	3,260	+ 110
1株あたり当期純利益	304.8円	△113.0円
1株あたり配当金	70円	+ 10円

2018年度 計画

1) トップラインの拡大

- ① 国際線事業（旅客・貨物）を中心に堅調な需要を獲得

2) コストの総点検（2年目）

- ① 安全の堅持、プロダクト・サービスの刷新
- ② 将来に向けた「人財」の確保・育成

➤ ポイント

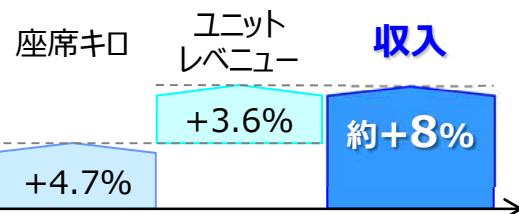
1. 生産量拡大に先行して費用が増加
2. 営業利益は過去最高の水準を堅持
3. 1株あたり配当金：70円（増配）

航空事業

緩やかな生産量増加の中で、トップラインの拡大を追求

収入前提（2017年度対比）

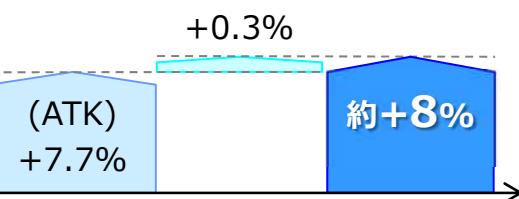
国際旅客



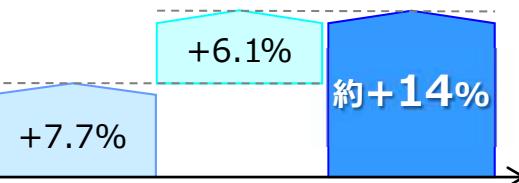
国内旅客



国際貨物



LCC



事業計画のポイント

- ✓ 羽田・成田におけるデュアルハブ戦略の深化
- ✓ プロダクト&サービスの強化

ネットワークの競争優位性を強化

- ✓ 小型機活用による最適な路線構成の追求
- ✓ 運賃構造改革の実施

安定的な収益基盤を堅持

- ✓ 他社との提携・他社チャーター便の活用
- ✓ フレイター機による需給適合の推進

収益性の向上を追求

- ✓ *Vanilla Air* 就航路線の改編
- ✓ *peach* 新千歳空港の拠点化

統合を視野にネットワークを最適化

2018年度の経営戦略（詳細）

足元を固めながら、成長戦略と財務の健全性を両立

事業戦略

経営の基盤固め

財務戦略

1. 航空事業

- 1) 安全の堅持
- 2) オペレーション品質の向上
- 3) グループの収益基盤を牽引

営業利益 : 1,600億円

2. ノンエア事業

- 1) ビジネスマodelの変革
 - ・グループ共通顧客データの構築
 - ・旅行事業の構造改革
- 2) 収益ドメインの創造

営業利益 : 190億円

※セグメント間取引による調整額を除く

4. 設備投資計画

- 1) 航空機の導入
 - ・A380 (1機)
 - ・B787-10 (1機)、B787-9 (2機)
 - ・A320neo/A321neo 等

- 2) 人財育成強化への取り組み
 - ・総合トレーニングセンターへの投資
- 3) 国際線事業の拡大に向けた対応
 - ・羽田空港第2ターミナル国際化の準備
 - ・ユニバーサル対応の強化

**①航空機関連 : 2,610億円
②その他 : 1,700億円**

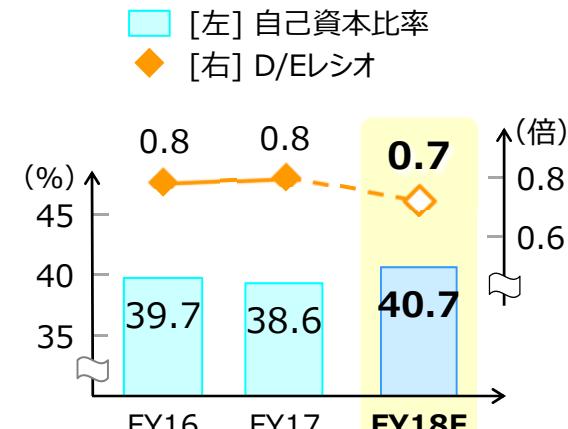
※中期経営戦略（2018.2.1開示）

- ・航空機関連 : 2,350億円
- ・その他 : 1,550億円

3. 格付対応

- 1) 現行の信用格付を維持（A格）
- 目安となる基準

- ①**自己資本比率 : 40%程度**
- ②**D/Eレシオ : 1.0倍以下**



※有利子負債にオフバランスリース債務を含まず

LCCの経営統合（中期経営戦略のアップデート）

バニラエアとPeach Aviationの強みとリソースを結集、LCC収益基盤の拡充へ

統合の目的

アジアのリーディングLCCへ

1) 成長の加速

- ① 小型機事業の拡充
- ② 中距離路線への進出

2) 独自性の維持

- ① 成田・関西拠点
- ② 斬新なマーケティング

会社統合（2019年度内 予定）

- ① リソースの結集
- ② 効率性の追求
- ③ 乗員不足への対応



2017年度 LCC提供座席数
(国内線・日本発着国際線 合計)

当社グループシェア
約25%（第1位）

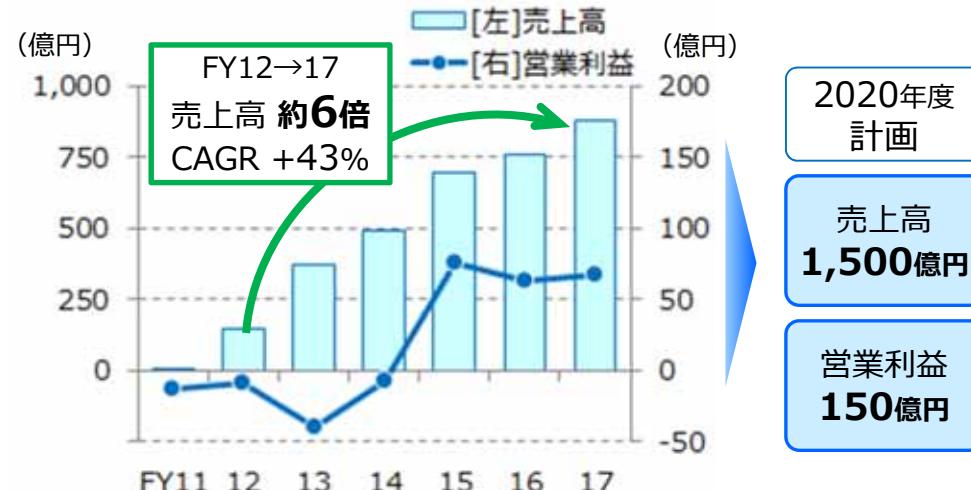
[出典] OAG



業績の推移

（バニラエア・Peach Aviation 合計）

1. 売上高・営業利益



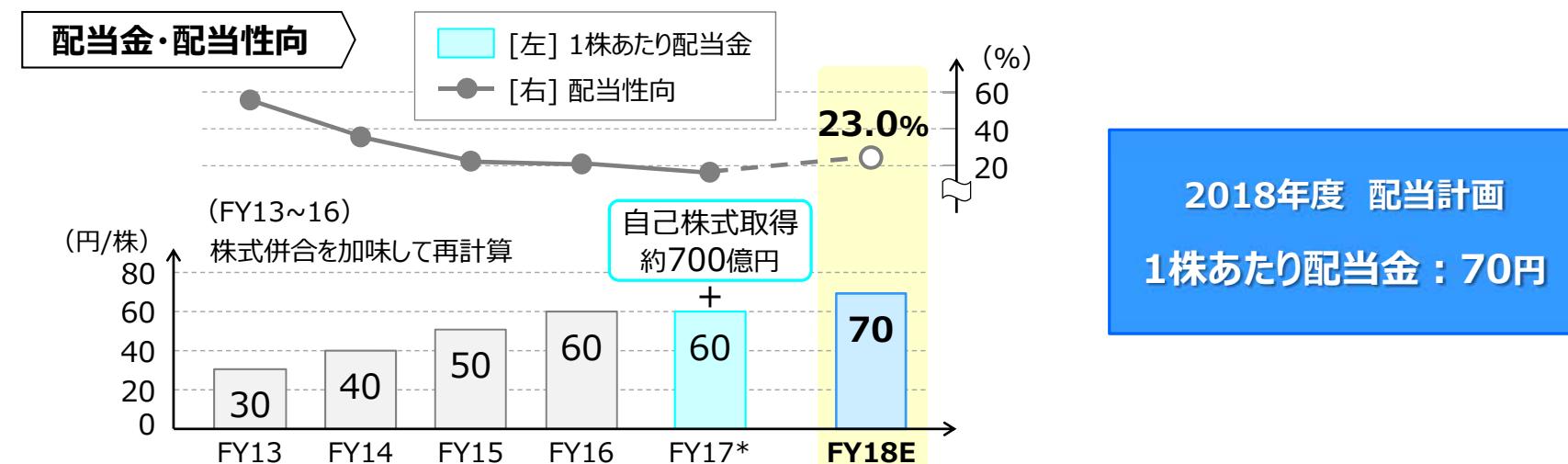
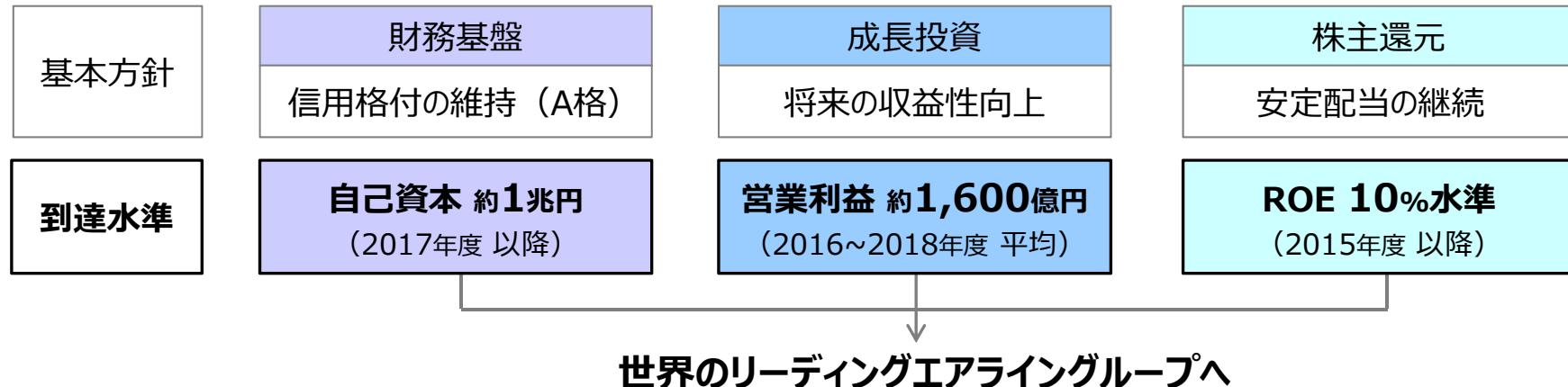
2. 旅客数・座席利用率 (L/F)



経営資源配分

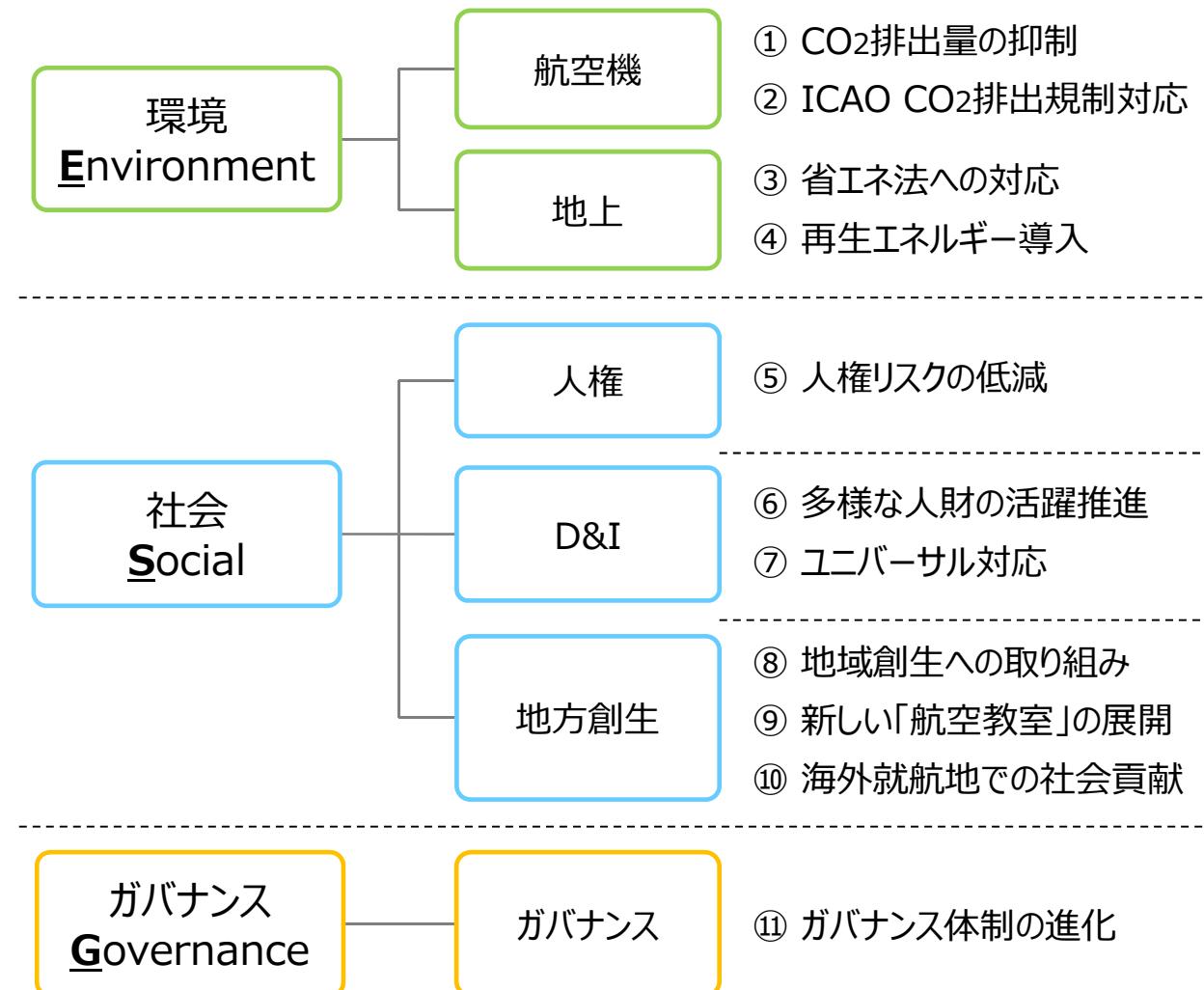
これまでの成長戦略の到達点を確認し、株主還元の向上を追求

考え方



社会的価値創造に向けた取り組み

ESGに関する重点取り組み内容



SDGsの貢献領域



2. 2017年度 決算（詳細）



業績ハイライト

当年度と前年度各四半期の業績比較

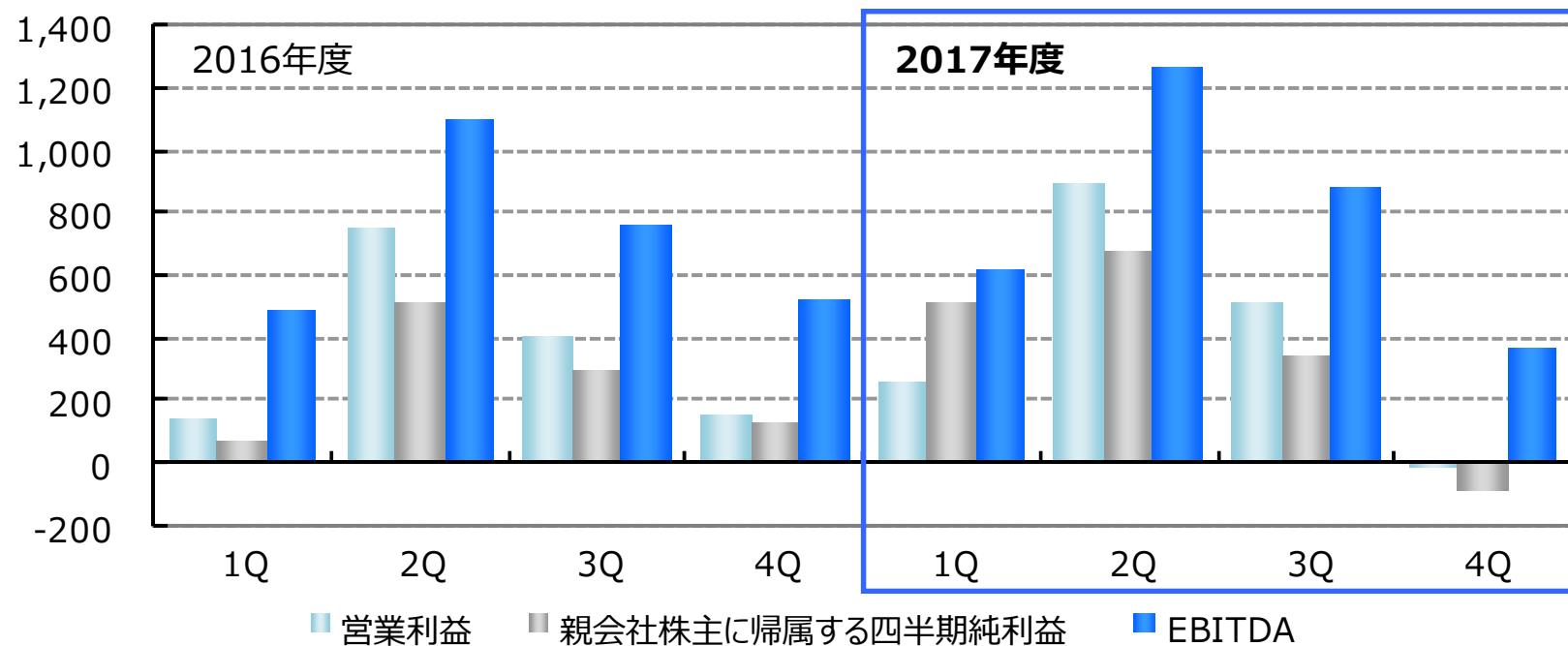
【2017年度（連結）】

- 営業利益 : 1,645億円（前年同期比 + 189億円）
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : 1,438億円（同 + 450億円）
- EBITDA : 3,149億円（同 + 290億円）

【第4四半期（1-3月期）（連結）】

- 営業利益 : △14億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : △90億円
- EBITDA : 370億円

(億円)



連結決算概要

経営成績 (億円)	FY2016	FY2017	前年差	FY2017 第4四半期	前年差
売上高	17,652	19,717	+ 2,065	4,809	+ 474
営業費用	16,197	18,072	+ 1,875	4,824	+ 642
営業利益	1,455	1,645	+ 189	△ 14	△ 167
営業利益率 (%)	8.2	8.3	+ 0.1pt	–	–
営業外損益	△ 51	△ 38	+ 12	△ 17	△ 26
経常利益	1,403	1,606	+ 202	△ 32	△ 193
特別損益	△ 9	360	+ 369	△ 79	△ 49
親会社株主に帰属する当期純利益	988	1,438	+ 450	△ 90	△ 213
当期純利益	993	1,456	+ 463	△ 90	△ 215
その他包括利益	463	168	△ 294	△ 147	△ 41
包括利益	1,456	1,624	+ 168	△ 237	△ 256

連結決算概要

財政状態

(億円)	FY2016 期末	FY2017 期末	前年度 期末差
総資産	23,144	25,624	+ 2,480
自己資本	9,191	9,886	+ 695
自己資本比率(%)	39.7	38.6	△ 1.1pt
有利子負債残高	7,298	7,983	+ 685
D/Eレシオ（倍）*	0.8	0.8	+ 0.0
純有利子負債残高 **	4,110	4,408	+ 297

* オフバランスリース債務額 205億円（前年度期末 461億円）を含むD/Eレシオは0.8倍（前年度期末0.8倍）

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - (流動資産 (現金及び預金 + 有価証券))

連結決算概要

キャッシュフロー

(億円)

	FY2016	FY2017	前年差
営業キャッシュフロー	2,370	3,160	+ 789
投資キャッシュフロー	△ 1,946	△ 3,244	△ 1,298
財務キャッシュフロー	33	△ 299	△ 333
現金及び現金同等物の増減額	439	△ 385	△ 824
現金及び現金同等物の期首残高	2,651	3,090	△ 385
現金及び現金同等物の期末残高	3,090	2,705	
減価償却費	1,403	1,504	+ 100
設備投資額（固定資産のみ）	2,544	3,047	+ 502
実質フリー・キャッシュフロー (3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く)	396	614	+ 217
EBITDA（営業利益 + 減価償却費）	2,858	3,149	+ 290
EBITDAマージン (%)	16.2	16.0	△ 0.2pt

連結決算概要

セグメント別実績

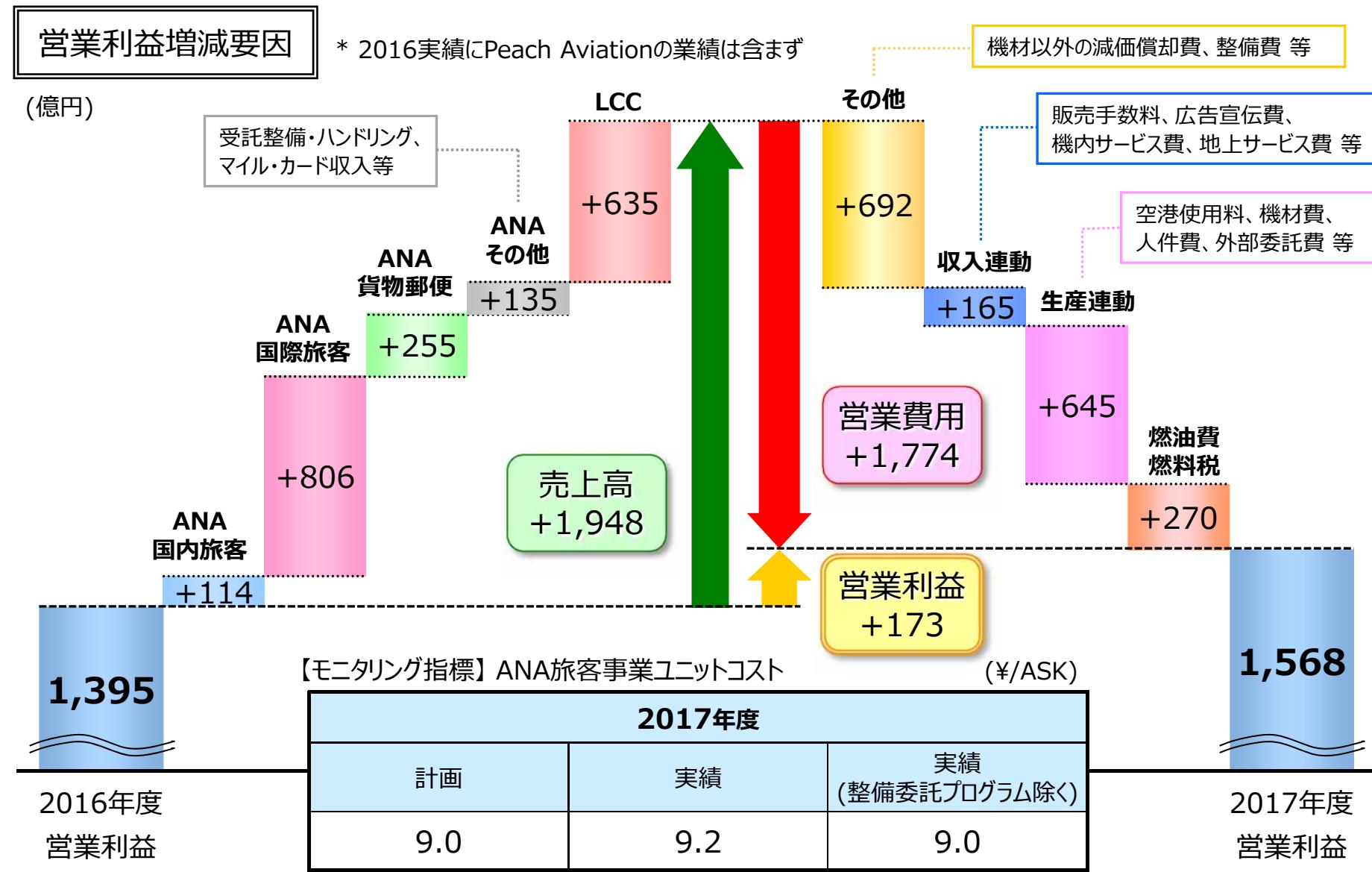
	(億円)	FY2016	FY2017	前年差	FY2017 第4四半期	前年差
売上高	航空事業	15,363	17,311	+ 1,948	4,230	+ 443
	航空関連事業	2,644	2,843	+ 198	728	+ 8
	旅行事業	1,606	1,592	△ 13	373	△ 12
	商社事業	1,367	1,430	+ 62	364	+ 30
	その他	347	387	+ 39	105	+ 9
	調整額	△ 3,676	△ 3,847	△ 170	△ 992	△ 5
	合計（連結）	17,652	19,717	+ 2,065	4,809	+ 474
営業利益	航空事業	1,395	1,568	+ 173	14	△ 164
	航空関連事業	83	106	+ 23	△ 8	△ 0
	旅行事業	37	37	+ 0	0	△ 4
	商社事業	43	45	+ 1	8	+ 3
	その他	13	27	+ 13	3	+ 1
	調整額	△ 117	△ 140	△ 22	△ 33	△ 3
	合計（連結）	1,455	1,645	+ 189	△ 14	△ 167

航空事業

収入・費用		(億円)	FY2016*	FY2017	前年差	FY2017 第4四半期	前年差
売上高	ANA	国内旅客	6,783	6,897	+ 114	1,570	△ 10
		国際旅客	5,167	5,974	+ 806	1,500	+ 216
		貨物郵便	1,324	1,580	+ 255	392	+ 41
		その他	1,848	1,983	+ 135	535	+ 36
	LCC		239	875	+ 635	230	+ 159
合計		15,363	17,311	+ 1,948	4,230	+ 443	
営業費用		燃油費・燃料税	2,736	3,006	+ 270	760	+ 66
		空港使用料	1,145	1,224	+ 78	297	+ 10
		航空機材賃借費	1,000	1,104	+ 103	278	+ 19
		減価償却費	1,338	1,442	+ 103	372	+ 25
		整備部品・外注費	1,124	1,669	+ 545	631	+ 327
		人件費	1,854	2,019	+ 165	526	+ 47
		販売費	927	1,026	+ 99	268	+ 25
		外部委託費	2,013	2,236	+ 222	574	+ 52
		その他	1,827	2,013	+ 185	507	+ 31
		合計	13,968	15,743	+ 1,774	4,215	+ 607
営業利益		営業利益	1,395	1,568	+ 173	14	△ 164
		EBITDA (営業利益+減価償却費)	2,733	3,010	+ 277	386	△ 138
		EBITDAマージン (%)	17.8	17.4	△ 0.4pt	9.1	△ 4.7pt

* 2016年度実績にPeach Aviationの業績は含まず

航空事業



航空事業

国内旅客事業（実績）

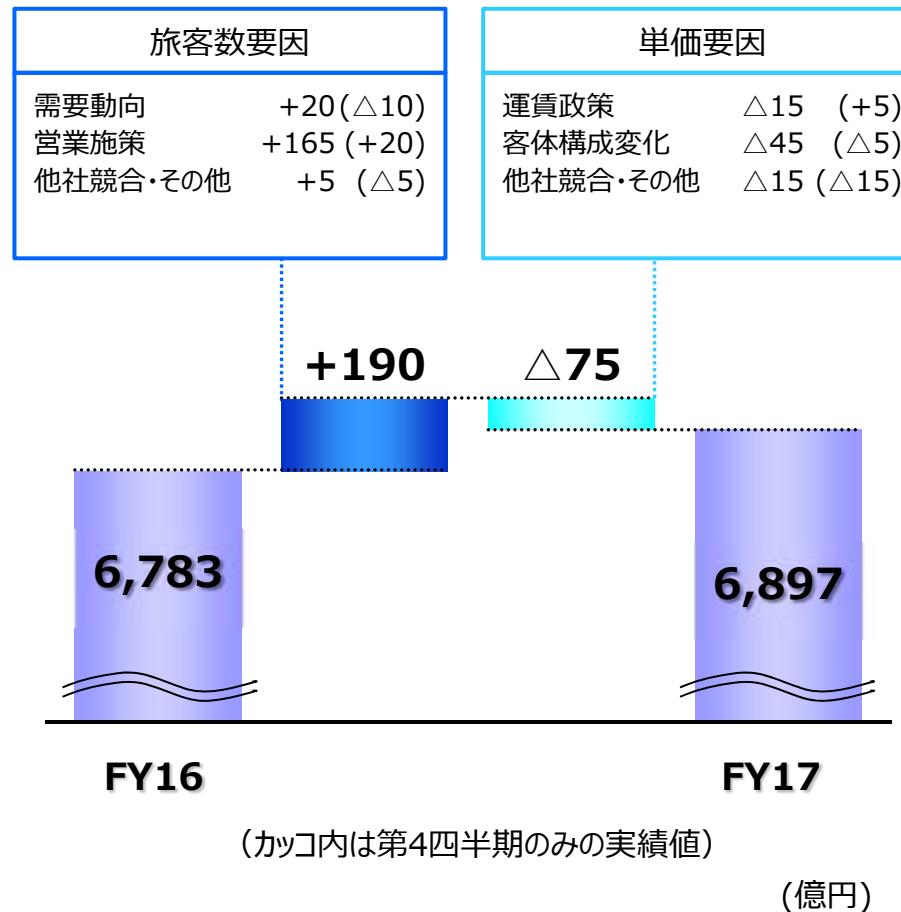
(ANAブランド)	FY2016	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	59,080	58,426	△ 1.1	13,945	△ 1.2
旅客キロ（百万）	38,990	40,271	+ 3.3	9,519	+ 1.0
旅客数（千人）	42,967	44,150	+ 2.8	10,351	+ 0.3
座席利用率（%）	66.0	68.9	+ 2.9pt*	68.3	+ 1.5pt*
旅客収入（億円）	6,783	6,897	+ 1.7	1,570	△ 0.7
ユニットレベニュー（円） (旅客収入／座席キロ)	11.5	11.8	+ 2.8	11.3	+ 0.6
イールド（円） (旅客収入／旅客キロ)	17.4	17.1	△ 1.5	16.5	△ 1.7
単価（円） (旅客収入／旅客数)	15,787	15,623	△ 1.0	15,174	△ 1.0

* 座席利用率のみ前年差

航空事業

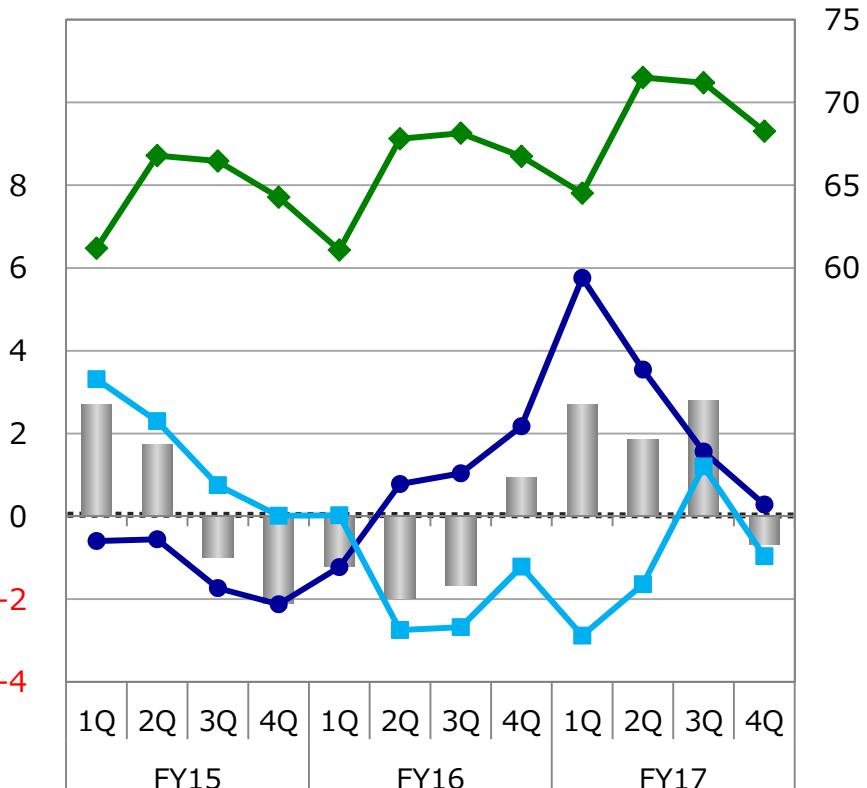
国内旅客事業（事業動向）
(ANAブランド)

2017年度 収入増減要因



四半期別 実績推移

[左] 前年比(%) ■: 旅客収入 ●: 旅客数 ▲: 単価
[右] 実績(%) ▲: 座席利用率



航空事業

国際旅客事業（実績）

(ANAブランド)	FY2016	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	60,148	64,376	+ 7.0	16,181	+ 5.1
旅客キロ（百万）	45,602	49,132	+ 7.7	12,447	+ 5.7
旅客数（千人）	9,119	9,740	+ 6.8	2,502	+ 5.6
座席利用率（%）	75.8	76.3	+ 0.5pt*	76.9	+ 0.4pt*
旅客収入（億円）	5,167	5,974	+ 15.6	1,500	+ 16.9
ユニットレベニュー（円） (旅客収入/座席キロ)	8.6	9.3	+ 8.0	9.3	+ 11.2
イールド（円） (旅客収入/旅客キロ)	11.3	12.2	+ 7.3	12.1	+ 10.6
単価（円） (旅客収入/旅客数)	56,669	61,336	+ 8.2	59,959	+ 10.6

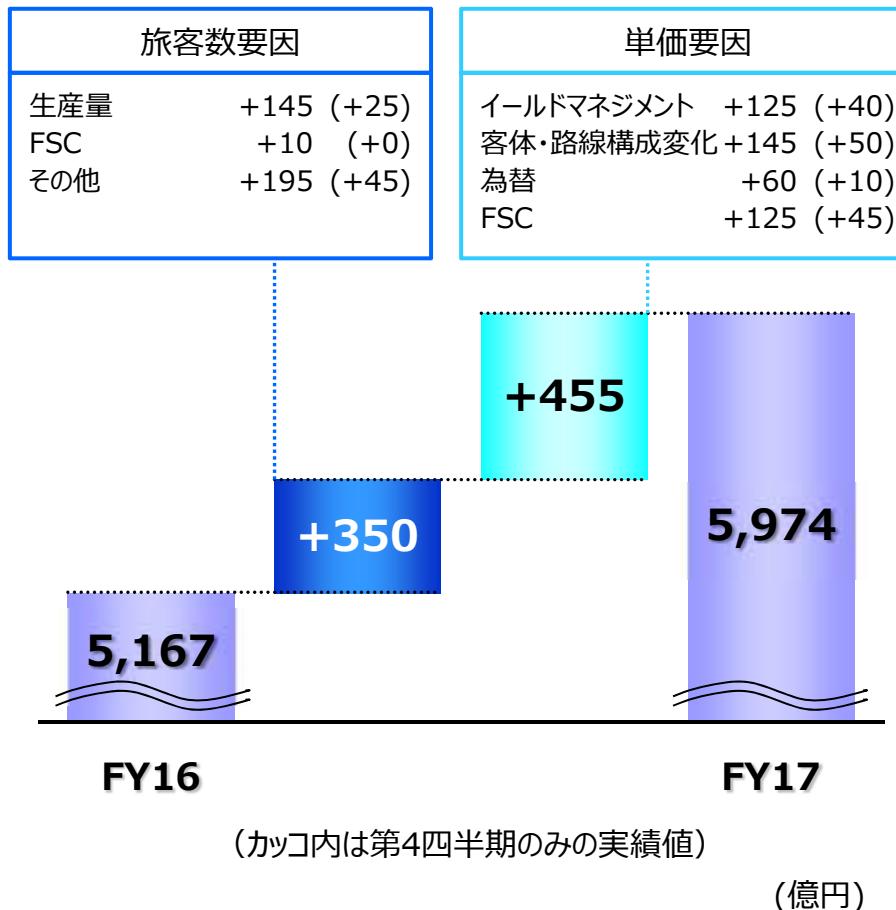
* 座席利用率のみ前年差

航空事業

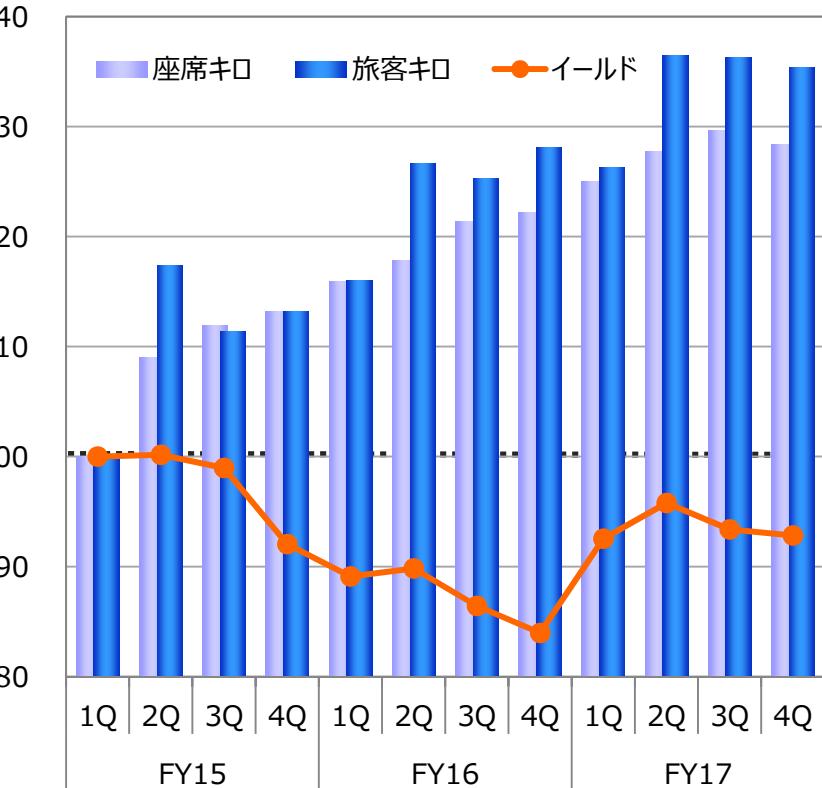
国際旅客事業（事業動向）
(ANAブランド)

2017年度 収入増減要因

四半期別 実績推移



指標 (FY15 1Q=100)



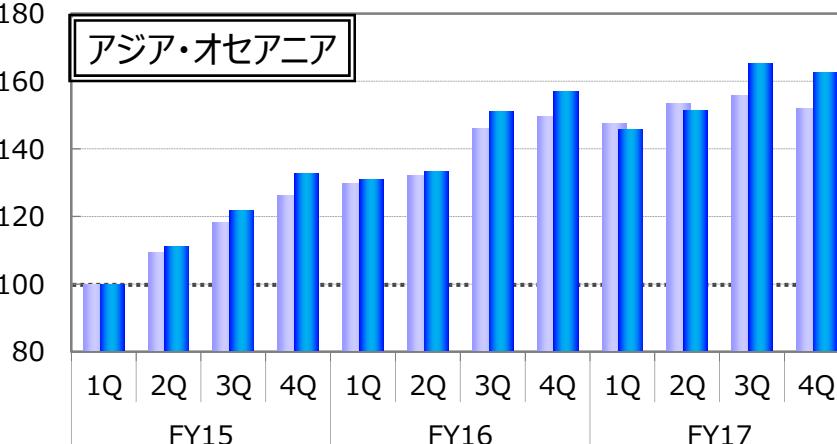
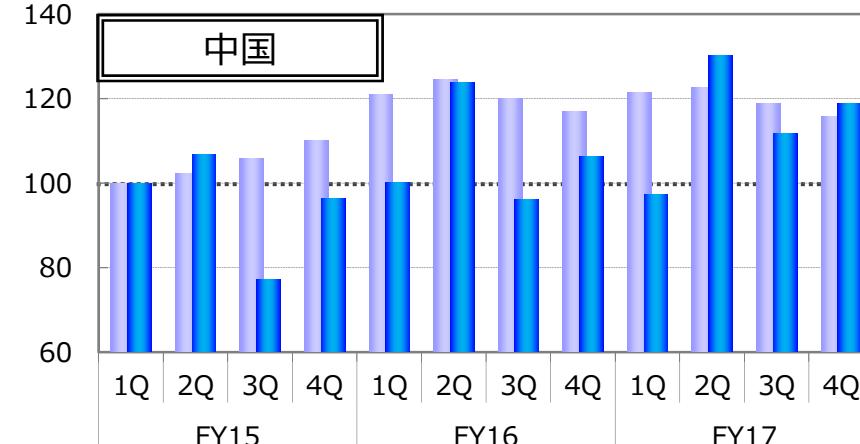
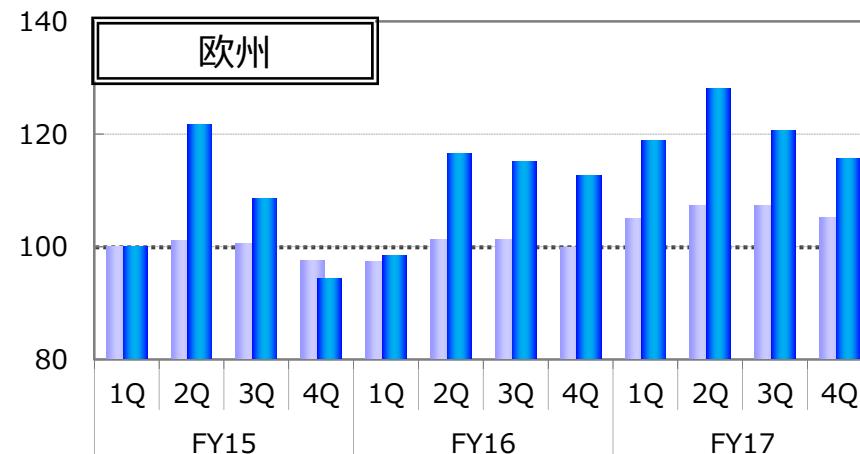
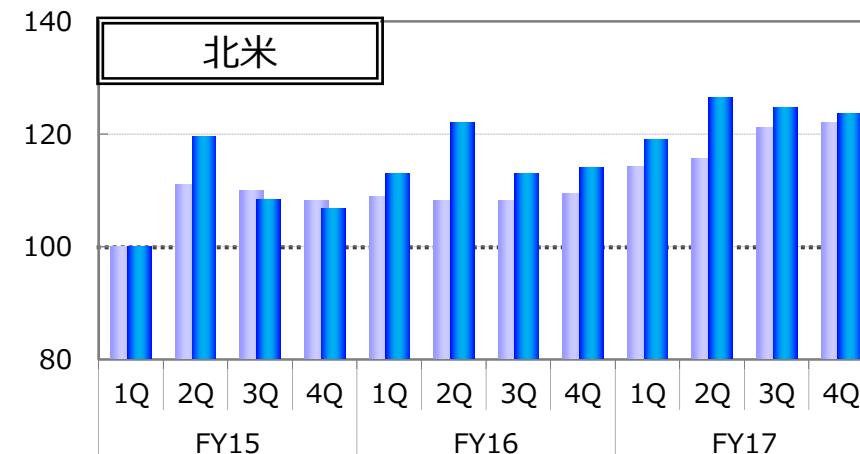
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

(ANAブランド)

四半期別・方面別 推移

指数 (FY15 1Q=100) ■ : 座席キロ ■ : 旅客キロ



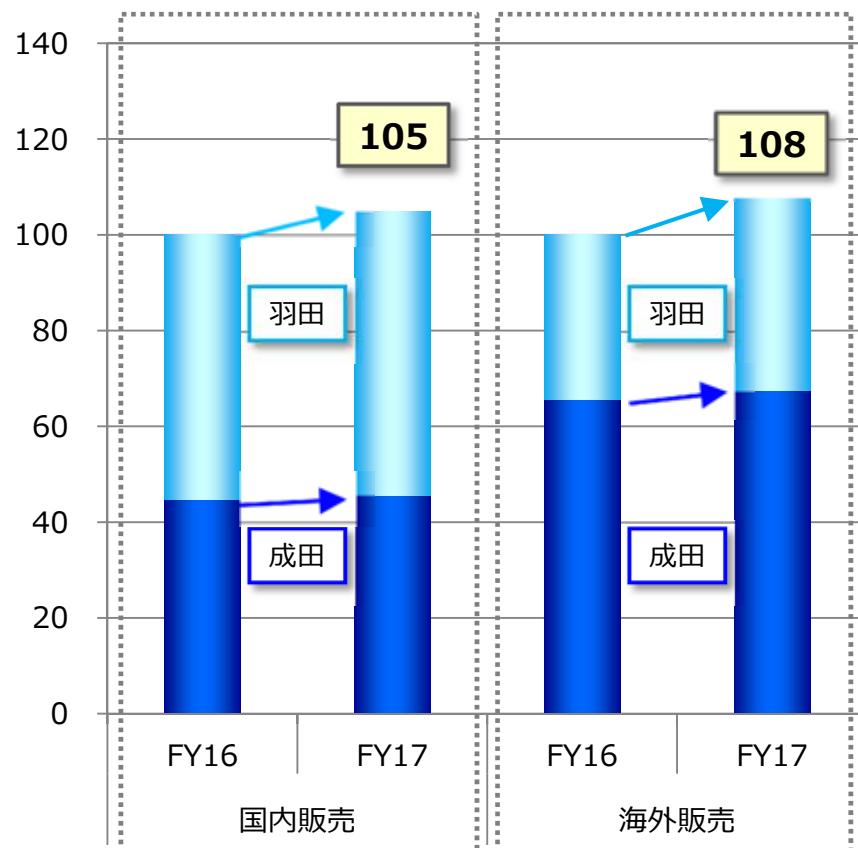
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

(ANAブランド)

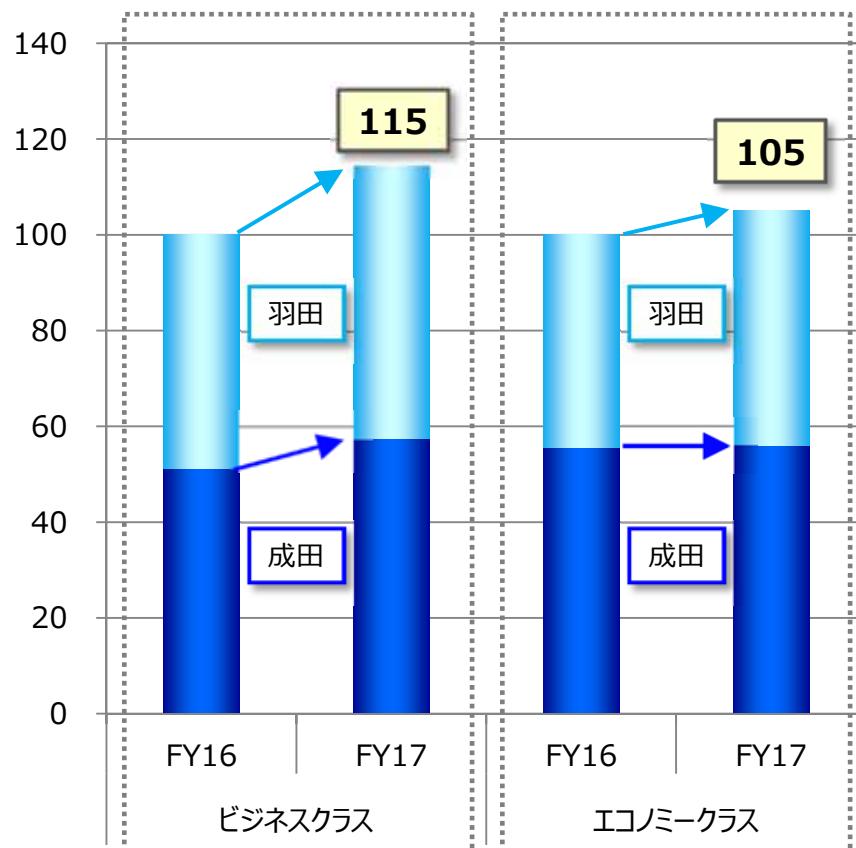
販売地別 実績(前年同期比較)

旅客数 指数
(FY16=100)



クラス別 実績(前年同期比較)

旅客数 指数
(FY16=100)



航空事業

国内貨物事業（実績）

(ANAブランド)	FY2016	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,783	1,739	△ 2.5	404	△ 3.1
有償貨物トンキロ（百万）	459	448	△ 2.5	100	△ 5.1
貨物輸送重量（千トン）	451	436	△ 3.2	97	△ 5.2
貨物重量利用率（%）	25.8	25.8	△ 0.0pt*	24.9	△ 0.5pt*
貨物収入（億円）	308	307	△ 0.5	70	△ 2.4
ユニットレベニュー（円） (貨物収入／有効貨物トンキロ)	17.3	17.7	+ 2.0	17.4	+ 0.7
イールド（円） (貨物収入／有償貨物トンキロ)	67.1	68.5	+ 2.0	69.9	+ 2.9
重量単価（円/kg） (貨物収入／貨物輸送重量)	68	70	+ 2.8	72	+ 3.0

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（実績）

(ANAブランド)	FY2016	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	6,583	6,809	+ 3.4	1,693	+ 2.9
有償貨物トンキロ（百万）	4,150	4,474	+ 7.8	1,071	+ 2.1
貨物輸送重量（千トン）	954	994	+ 4.3	230	△ 3.1
貨物重量利用率（%）	63.0	65.7	+ 2.7pt*	63.2	△ 0.5pt*
貨物収入（億円）	933	1,180	+ 26.5	298	+ 16.0
ユニットレベニュー（円） (貨物収入／有効貨物トンキロ)	14.2	17.3	+ 22.3	17.6	+ 12.7
イールド（円） (貨物収入／有償貨物トンキロ)	22.5	26.4	+ 17.3	27.9	+ 13.6
重量単価（円/kg） (貨物収入／貨物輸送重量)	98	119	+ 21.3	129	+ 19.8

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

【参考】国際フレイター（実績）

本表のデータは、P.28記載実績の内数

	FY2016	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,191	1,041	△ 12.6	243	△ 8.9
有償貨物トンキロ（百万）	722	683	△ 5.4	158	△ 6.1
貨物輸送重量（千トン）	381	368	△ 3.5	83	△ 8.6
貨物重量利用率（%）	60.6	65.6	+ 5.0pt*	65.1	+ 2.0pt*
貨物収入（億円）	272	288	+ 5.8	72	+ 5.6
ユニットレベニュー（円） (貨物収入／有効貨物トンキロ)	22.9	27.7	+ 21.0	29.8	+ 15.9
イールド（円） (貨物収入／有償貨物トンキロ)	37.8	42.3	+ 11.8	45.8	+ 12.4
重量単価（円/kg） (貨物収入／貨物輸送重量)	72	78	+ 9.6	88	+ 15.4

* 貨物重量利用率のみ前年差

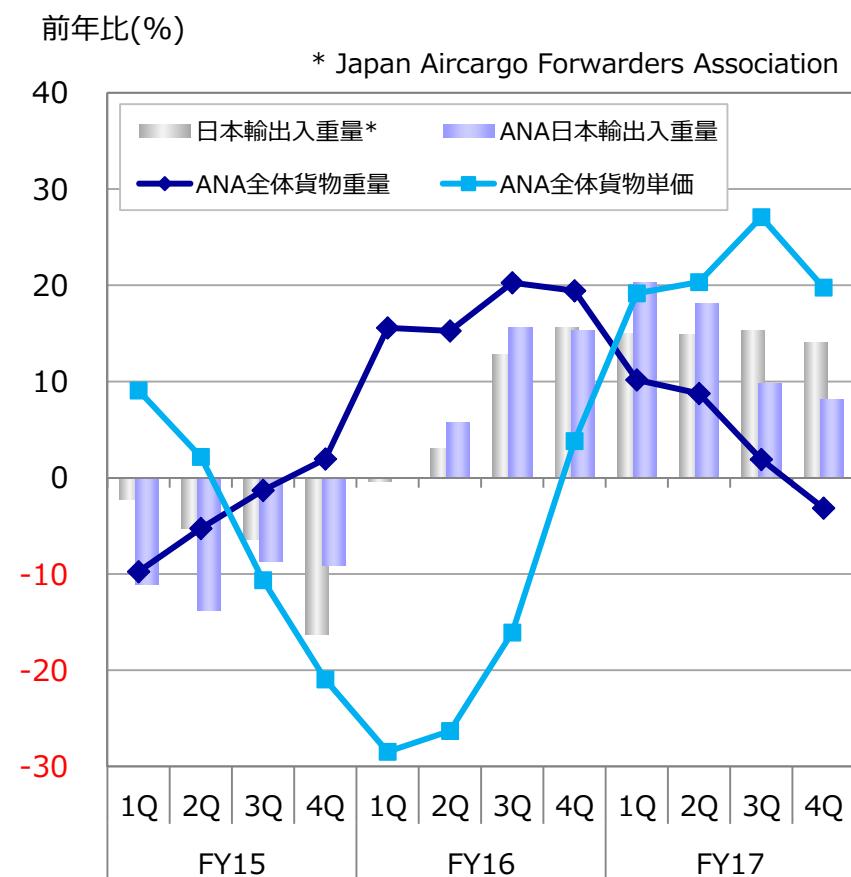
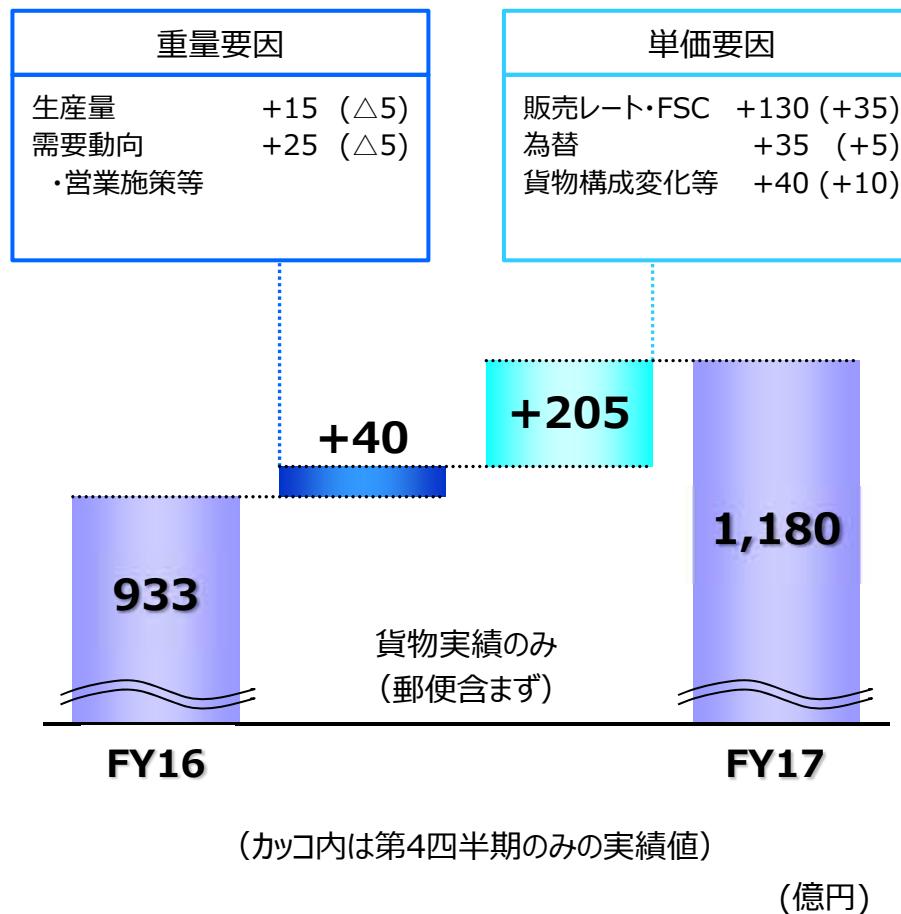
航空事業

国際貨物事業（事業動向）

(ANAブランド)

2017年度 収入増減要因

四半期別 実績推移



FY16の前年比については、
販売手数料の廃止による影響を除いた実質的な単価で算出

航空事業

LCC事業（実績）

(バニラエア・Peach Aviation 合計)	FY2016*	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	4,221	11,832	+ 180	3,012	+ 156
旅客キロ（百万）	3,622	10,212	+ 182	2,618	+ 157
旅客数（千人）	2,129	7,797	+ 266	2,007	+ 236
座席利用率（%）	85.8	86.3	+0.5pt**	86.9	+0.1pt**
売上高（億円）***	239	875	+ 265	230	+ 223
ユニットレベニュー（円） (売上高／座席キロ)	5.7	7.4	+ 30.2	7.7	+ 26.0
イールド（円） (売上高／旅客キロ)	6.6	8.6	+ 29.5	8.8	+ 25.8
単価（円） (売上高／旅客数)	11,264	11,228	△ 0.3	11,506	△ 3.9

* 2016年度実績にPeach Aviationの業績は含まず

** 座席利用率のみ前年差

*** 売上高に付帯収入を含む

航空事業

バニラエア 輸送実績

(国内線・国際線合計)	FY2016	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	4,221	4,981	+ 18.0	1,235	+ 5.1
旅客キロ (百万)	3,622	4,260	+ 17.6	1,054	+ 3.4
旅客数 (千人)	2,129	2,677	+ 25.7	658	+ 10.2
座席利用率 (%)	85.8	85.5	△0.3pt*	85.4	△1.4pt*

* 座席利用率のみ前年差

Peach Aviation 輸送実績

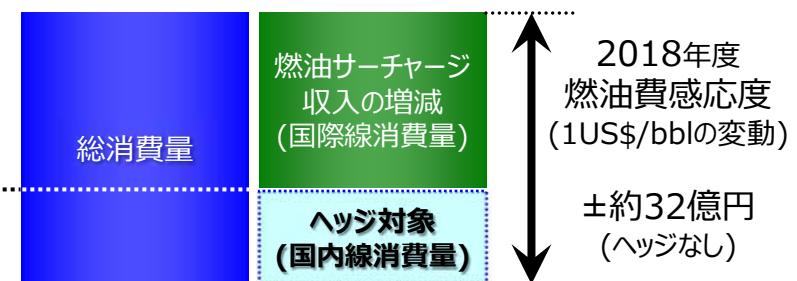
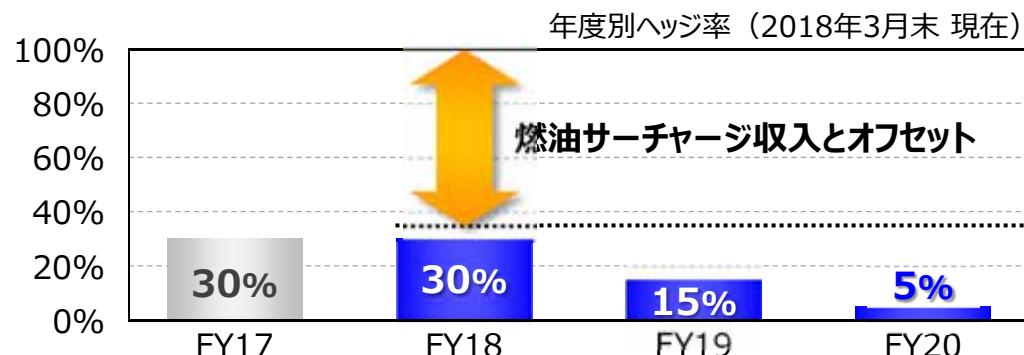
(国内線・国際線合計)	FY2016	FY2017	前年比(%)	FY2017 第4四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	—	6,851	—	1,777	—
旅客キロ (百万)	—	5,951	—	1,563	—
旅客数 (千人)	—	5,120	—	1,348	—
座席利用率 (%)	—	86.9	—	88.0	—

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)

【燃油ヘッジ 基本方針】

- ・国内線消費量を対象にヘッジ（3年前から取引開始）
- ・国際線消費量は原則としてヘッジ対象外（燃油サーチャージ収入で対応）

	(US\$/bbl)	FY2017実績	FY2018前提
ドバイ原油	55.9	62	
シンガポールケロシン	69.2	75	

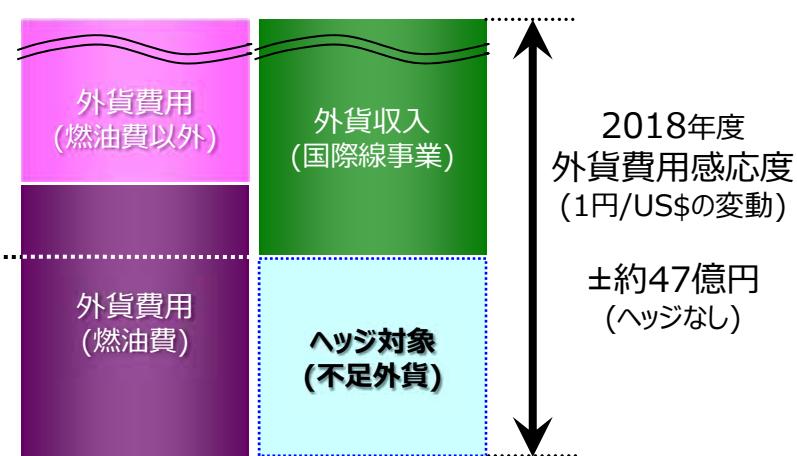
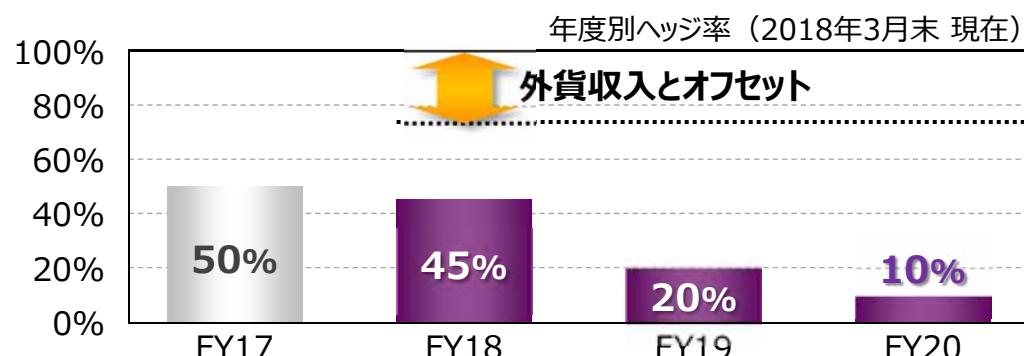


【為替ヘッジ 基本方針】

- ・不足する外貨量を対象にヘッジ（3年前から取引開始）

	(円/US\$)	FY2017実績	FY2018前提
ドル円レート	110.8	110	

※ヘッジ率は外貨費用（燃油費）に対する進捗



航空事業以外のセグメント

セグメント別実績

(億円)	航空関連事業			旅行事業		
	FY2016	FY2017	前年差	FY2016	FY2017	前年差
売上高	2,644	2,843	+ 198	1,606	1,592	△ 13
営業利益	83	106	+ 23	37	37	+ 0
減価償却費	48	43	△ 5	1	2	+ 1
EBITDA (営業利益+減価償却費)	132	150	+ 17	39	40	+ 1
EBITDAマージン(%)	5.0	5.3	+ 0.3pt	2.4	2.5	+ 0.1pt

	商社事業			その他		
	FY2016	FY2017	前年差	FY2016	FY2017	前年差
売上高	1,367	1,430	+ 62	347	387	+ 39
営業利益	43	45	+ 1	13	27	+ 13
減価償却費	12	13	+ 0	1	2	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	56	58	+ 1	15	29	+ 14
EBITDAマージン(%)	4.1	4.1	△ 0.1pt	4.5	7.7	+ 3.3pt

3. 2018年度 業績予想（詳細）



2018年度 通期業績予想

連結業績予想

(億円)	FY2017	FY2018 (業績予想)	前年差	FY2018 (中期経営戦略)*
売上高	19,717	20,400	+ 682	20,400
営業費用	18,072	18,750	+ 677	18,750
営業利益	1,645	1,650	+ 4	1,650
営業利益率(%)	8.3	8.1	△ 0.3pt	8.1
経常利益	1,606	1,580	△ 26	1,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,438	1,020	△ 418	1,000

市況	FY2017実績	FY2018前提
為替レート (円/US\$)	110.8	110
ドバイ原油 (US\$/bbl)	55.9	62
シンガポールマレーシア (US\$/bbl)	69.2	75

* 2018年2月1日開示

2018年度 通期業績予想

セグメント別 業績予想

	(億円)	FY2017	FY2018 (業績予想)	前年差
売上高	航空事業	17,311	18,050	+ 738
	航空関連事業	2,843	2,880	+ 36
	旅行事業	1,592	1,640	+ 47
	商社事業	1,430	1,550	+ 119
	その他	387	380	△ 7
	調整額	△ 3,847	△ 4,100	△ 252
	合計 (連結)	19,717	20,400	+ 682
営業利益	航空事業	1,568	1,600	+ 31
	航空関連事業	106	110	+ 3
	旅行事業	37	10	△ 27
	商社事業	45	50	+ 4
	その他	27	20	△ 7
	調整額	△ 140	△ 140	+ 0
	合計 (連結)	1,645	1,650	+ 4

2018年度 通期業績予想

航空事業 売上高・営業費用 予想

	(億円)	FY2017	FY2018 (業績予想)	前年差
売上高	ANA 国内線旅客	6,897	6,910	+ 12
	ANA 国際線旅客	5,974	6,480	+ 505
	ANA 貨物郵便	1,580	1,680	+ 99
	その他	1,983	1,980	△ 3
LCC	LCC	875	1,000	+ 124
	合計	17,311	18,050	+ 738
営業費用	燃油費・燃料税	3,006	3,120	+ 113
	燃油費・燃料税 以外	12,736	13,330	+ 593
	合計	15,743	16,450	+ 706
営業利益	営業利益	1,568	1,600	+ 31

2018年度 通期業績予想

計画前提 (ANA旅客事業)

数値は前年比表示
 * 実数値・(前年差) 表示
 ** 実数値・(前年比) 表示

	国内旅客			国際旅客		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
座席キロ	△ 0.8	+ 0.3	△ 0.3	+ 5.2	+ 4.2	+ 4.7
旅客キロ	+ 0.7	△ 0.4	+ 0.2	+ 8.5	+ 4.3	+ 6.3
旅客数	+ 0.3	+ 0.4	+ 0.4	+ 8.0	+ 1.7	+ 4.8
座席利用率(%)*	69.2 (+1.1pt)	69.3 (△0.5pt)	69.2 (+0.3pt)	78.2 (+2.4pt)	76.8 (+0.0pt)	77.5 (+1.2pt)
ユニットレバニュー(円)** (旅客収入/座席キロ)	11.9 (+ 0.7)	11.8 (+ 0.1)	11.9 (+ 0.4)	9.9 (+ 6.3)	9.4 (+ 0.9)	9.6 (+ 3.6)
イールド(円)** (旅客収入/旅客キロ)	17.2 (△ 0.8)	17.0 (+ 0.7)	17.1 (△ 0.1)	12.6 (+ 3.1)	12.2 (+ 0.9)	12.4 (+ 2.0)
単価(円)** (旅客収入/旅客数)	15,723 (△ 0.4)	15,442 (△ 0.1)	15,585 (△ 0.2)	64,281 (+ 3.6)	62,698 (+ 3.4)	63,496 (+ 3.5)

2018年度 通期業績予想

計画前提 (ANA貨物事業)

数値は前年比表示
 * 実数値・(前年差) 表示
 ** 実数値・(前年比) 表示

	国内貨物			国際貨物		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
有効貨物トンキロ	△ 4.5	△ 0.5	△ 2.6	+ 8.0	+ 7.3	+ 7.7
有償貨物トンキロ	△ 0.2	+ 9.0	+ 4.5	+ 5.0	+ 14.8	+ 9.9
貨物輸送重量	△ 0.7	+ 1.4	+ 0.3	+ 2.2	+ 7.6	+ 4.9
重量利用率(%)*	25.4 (+1.1pt)	29.9 (+2.6pt)	27.6 (+1.9pt)	63.7 (△2.8pt)	70.4 (+6.9pt)	67.1 (+2.1pt)
ユニットレベニュー(円)** (貨物収入/有効貨物トンキロ)	17.6 (+ 5.7)	19.7 (+ 4.9)	18.6 (+ 5.4)	16.6 (+ 2.8)	18.1 (△ 1.8)	17.4 (+ 0.3)
イールド(円)** (貨物収入/有償貨物トンキロ)	69.1 (+ 1.2)	65.9 (△ 4.2)	67.4 (△ 1.6)	26.1 (+ 5.8)	25.8 (△ 8.2)	25.9 (△ 1.7)
単価(円)** (貨物収入/貨物輸送重量)	71 (+ 1.7)	73 (+ 3.0)	72 (+ 2.4)	119 (+ 8.7)	125 (△ 2.1)	122 (+ 3.0)

2018年度 通期業績予想

計画前提（LCC事業）

(バニラエア・Peach Aviation 合計)

数値は前年比表示

* 実数値・(前年差) 表示

** 実数値・(前年比) 表示

	LCC		
	上期	下期	通期
座席キロ	+ 7.3	+ 8.0	+ 7.7
旅客キロ	+10.5	+ 11.7	+ 11.1
旅客数	+ 14.6	+ 14.3	+ 14.4
座席利用率(%)*	90.1 (+2.6pt)	88.1 (+2.9pt)	89.0 (+2.7pt)
ユニットレベニュー(円)** (売上高/座席キロ)	8.2 (+ 8.1)	7.5 (+ 4.0)	7.8 (+ 6.1)
イールド(円)** (売上高/旅客キロ)	9.1 (+ 5.0)	8.5 (+ 0.6)	8.8 (+ 2.8)
単価(円)** (売上高/旅客数)	11,515 (+ 1.2)	10,889 (△ 1.7)	11,201 (△ 0.2)

新規就航路線（2018年1月以降）



- ✈ 福岡 - 台北 2018/3/25 就航
- ✈ 成田 - 石垣 2018/7/1 就航予定
- ✈ 那覇 - 石垣 2018/7/1 就航予定



- ✈ 関西 - 新潟 2018/3/1 就航
- ✈ 那覇 - 高雄 2018/4/26 就航
- ✈ 関西 - 釧路 2018/8/1 就航予定

Intentionally Blank

2018年度 通期業績予想

連結バランスシート（計画）

(億円)	FY2017 期末	FY2018 期末 (業績予想)	前年度 期末差
総資産	25,624	26,300	+ 675
自己資本	9,886	10,700	+ 813
自己資本比率 (%)	38.6	40.7	+ 2.2pt
有利子負債残高	7,983	7,700	△ 283
D/Eレシオ (倍)	0.8	0.7	△ 0.1
ROA (%)	6.8	6.4	△ 0.4pt
ROE (%)	15.1	9.9	△ 5.2pt

2018年度 通期業績予想

連結キャッシュフロー（計画）

(億円)	FY2017	FY2018 (業績予想)	前年差
親会社株主に帰属する当期純利益	1,438	1,020	△ 418
減価償却費	1,504	1,610	+ 105
リース元本相当額	92	40	△ 52
営業キャッシュフロー*	3,252	2,640	△ 612
設備投融資額	△ 3,164	△ 4,310	△ 1,145
投資キャッシュフロー**	△ 2,382	△ 3,050	△ 667
フリー・キャッシュフロー	869	△ 410	△ 1,279
財務キャッシュフロー*	△ 555	△ 660	△ 104
EBITDA (営業利益+減価償却費)	3,149	3,260	+ 110
EBITDAマージン(%)	16.0	16.0	+ 0.0pt

* 本表の営業キャッシュフロー、財務キャッシュフローには、オーバランスリース元本償還相当額を含む

** 本表の投資キャッシュフローには、定期預金、譲渡性預金への預け入れ相当額は含まない

Intentionally Blank

Intentionally Blank

4. 補足資料



補足資料

運用航空機数	FY2016 期末	FY2017 期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
ANA					
Boeing 777-300/-300ER	29	29	-	25	4
Boeing 777-200/-200ER	24	21	△ 3	15	6
Boeing 787-9	21	28	+ 7	25	3
Boeing 787-8	36	36	-	31	5
Boeing 767-300/-300ER	37	34	△ 3	23	11
Boeing 767-300F/-300BCF	12	12	-	8	4
Airbus A321-200neo	0	2	+ 2	-	2
Airbus A321-200	4	4	-	-	4
Airbus A320-200neo	2	3	+ 1	3	-
Airbus A320-200	10	7	△ 3	7	-
Boeing 737-800	36	36	-	24	12
Boeing 737-700	7	7	-	7	-
Boeing 737-500	17	14	△ 3	14	-
Bombardier DHC-8-400	21	24	+ 3	24	-
ANA 計	256	257	+ 1	206	51
Airbus A320-200	12	15	+ 3	-	15
Airbus A320-200	-	20	+ 20	-	20
ANAグループ 計	268	292	+ 24	206	86

補足資料

国際旅客 方面別実績（構成比） (ANAブランド)		FY2017 構成比	前年差	FY2017 第4四半期 構成比	前年差
旅客収入	北米	30.6	△ 0.5	29.4	△ 0.1
	欧州	19.1	+ 0.5	16.8	△ 0.7
	中国	13.9	+ 0.0	14.7	+ 0.9
	アジア・オセアニア	31.6	+ 0.1	34.1	△ 0.4
	リゾート	4.9	△ 0.1	5.0	+ 0.3
座席キロ	北米	33.2	+ 0.5	34.1	+ 2.0
	欧州	16.0	△ 0.1	15.8	+ 0.1
	中国	10.7	△ 0.8	10.3	△ 0.7
	アジア・オセアニア	35.3	+ 0.7	35.0	△ 1.2
	リゾート	4.7	△ 0.3	4.8	△ 0.1
旅客キロ	北米	32.8	△ 0.3	32.4	+ 0.8
	欧州	16.6	+ 0.2	15.6	△ 0.5
	中国	9.8	△ 0.0	10.0	+ 0.5
	アジア・オセアニア	35.5	+ 0.5	36.5	△ 0.7
	リゾート	5.4	△ 0.4	5.5	△ 0.2

補足資料

国際貨物 方面別実績（構成比）

(ANAブランド)

FY2017
構成比

前年差

FY2017
第4四半期
構成比

前年差

		FY2017 構成比	前年差	FY2017 第4四半期 構成比	前年差
貨物収入	北米	30.6	+ 4.0	28.9	+ 2.3
	欧州	17.5	+ 1.4	20.1	+ 2.7
	中国	24.1	△ 3.7	22.7	△ 2.4
	アジア・オセアニア	23.3	△ 0.4	24.2	△ 1.1
	その他	4.4	△ 1.3	4.0	△ 1.4
有効貨物 トンキロ	北米	38.0	+ 1.5	39.3	+ 2.5
	欧州	16.0	△ 0.1	15.8	+ 0.0
	中国	15.9	△ 0.6	15.3	△ 0.5
	アジア・オセアニア	27.7	+ 0.1	27.4	△ 1.5
	その他	2.5	△ 0.9	2.2	△ 0.6
有償貨物 トンキロ	北米	37.0	△ 0.1	37.1	+ 0.8
	欧州	21.1	+ 0.2	22.1	+ 0.8
	中国	13.7	△ 0.3	12.4	△ 1.0
	アジア・オセアニア	25.5	+ 0.9	26.1	+ 0.1
	その他	2.6	△ 0.6	2.3	△ 0.7

(Memo)



(Memo)



(Memo)



(Memo)



グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、お客様満足と価値創造で
世界のリーディングエアライングループを目指します

グループ行動指針
(ANA's Way)

私たちは「あんしん、あたか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)
安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)
常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)
誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)
多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)
グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R部

Eメール : ir@anahd.co.jp